

## 第2章 技術評価委員会活動

## 1. 技術評価委員会

日本下水道事業団技術評価委員会は、新技術実用化の適正な評価を行い、下水道技術の研究、調査及び試験に関する重要事項を審議するために設置された理事長の諮問機関で、学識経験者、国及び地方公共団体の下水道部局の長から構成されている。

さらに、必要に応じて専門の事項を調査するための専門委員会を設けている。（令和3年度は設置なし）

### 技 術 評 価 委 員 会

令和4年3月28日現在

	氏 名	所 属 職 名
会 長	古米 弘明	東京大学大学院工学系研究科附属水環境工学研究センター教授
委 員	長岡 裕	東京都市大学建築都市デザイン学部都市工学科教授
〃	池 道彦	大阪大学大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻教授
〃	高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻教授
〃	植松 龍二	国土交通省水管理・国土保全局下水道部長
〃	南山 瑞彦	国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究部長
〃	神山 守	東京都下水道局長
〃	渡瀬 誠	大阪市建設局長
〃	海老原 正明	埼玉県下水道局長
〃	中島 義成	公益社団法人日本下水道協会常務理事

## 2. 令和3年度活動状況

令和3年度は、技術評価委員会を2回開催した。

### [第84回 技術評価委員会]

- (1) 開催日 令和3年11月5日（金）
- (2) 場所 日本下水道事業団本社8階 大会議室 及び WEB 会議
- (3) 議題
- ① 前回議事概要の確認
  - ② 令和2年度試験研究実施状況および令和3年度試験研究計画について（審議）
  - ③ 技術開発基本計画（第4次）の実施状況および次期計画について（審議）
  - ④ 膜分離活性汚泥法の技術評価(第3次)について（審議）
- (4) 出席者 会長 古米 弘明  
委員 長岡 裕、池 道彦、高岡 昌輝、津森 ジュン（代理出席）  
南山 瑞彦、神山 守、岸田 秀（代理出席）、中島 義成
- (5) 議事内容
- (1) 前回議事概要の確認  
令和3年3月29日に開催された第83回技術評価委員会の議事概要について説明し、承認された。
  - (2) 令和2年度試験研究実施状況および令和3年度試験研究計画について（審議）  
JSが実施する試験研究について、令和2年度の実施状況および令和3年度の計画の概要を説明し、審議を経て承認された。
  - (3) 技術開発基本計画（第4次）の実施状況および次期計画について（審議）  
技術開発基本計画（第4次）について全体の実施状況および次期計画の策定方針を説明し、審議を経て承認された。
  - (4) 膜分離活性汚泥法の技術評価(第3次)について（審議）  
膜分離活性汚泥法の技術評価(第3次)について、JS理事長から古米会長へ諮問され、会長より本技術評価の専門事項の調査を行う委員2名（長岡委員、池委員）が指名された。また、本技術評価の目的や評価の内容について説明し、審議を経て次回技術評価委員会で評価報告書の審議を行う旨承認された。

[第 85 回 技術評価委員会]

- (1) 開催日 令和 4 年 3 月 28 日（月）
- (2) 場所 日本下水道事業団本社 8 階 大会議室 及び WEB 会議
- (3) 議題 ① 前回議事概要の確認  
② 膜分離活性汚泥法の技術評価(第 3 次)について（審議）  
③ 技術開発・活用基本計画について（報告）
- (4) 出席者 会長 古米 弘明  
委員 長岡 裕、池 道彦、高岡 昌輝、津森 ジュン（代理出席）  
神山 守、渡瀬 誠、海老原 正明、中島 義成
- (5) 議事内容 (1) 前回議事概要の確認  
令和 3 年 11 月 5 日に開催された第 84 回技術評価委員会の議事概要について説明し、承認された。
- (2) 膜分離活性汚泥法の技術評価（第 3 次）について（審議）  
長岡委員より、評価内容の査読結果について概要説明が行われた。  
事務局より、同評価報告書（案）について説明し、審議を経て承認され、古米会長より JS 理事長へ答申された。
- (3) 技術開発・活用基本計画について（報告）  
JS 技術開発・活用基本計画 2022 の目的や基本方針（開発課題、実施スキームなど）について報告し、質疑が行われた。

### 3. 技術評価の推移

技術評価は、JSが開発した新技術について、JSにおける試験研究の成果などに基づき、その技術の特徴や性能、設計や維持管理における留意点などの事項について、体系的に公正かつ客観的な評価を行うものである。

技術評価委員会では、昭和49年度以来、これまでに33件の諮問を行い、44件の答申を行ってきた。

技術評価の答申内容は、JSの内外に公表されており、JS内部の設計基準類への反映などにより、JSにおける当該技術の迅速かつ円滑な実施への導入や普及促進に寄与するだけでなく、公益社団法人日本下水道協会発行の「下水道施設計画・設計指針と解説」などにも反映され、わが国の下水道事業の発展に多大な貢献をしている。

(1)	膜分離活性汚泥法（令和3年11月諮問）	
	膜分離活性汚泥法の技術評価に関する第3次報告書 －MBRの省エネ化と流量変動対応－	令和4年3月
(2)	アンモニア計を利用した送風量制御技術（平成31年3月諮問）	
	アンモニア計を利用した曝気風量制御技術の評価に関する報告書	令和2年4月
(3)	下水汚泥由来繊維利活用システム（平成27年10月諮問）	
	下水汚泥由来繊維利活用システムの技術評価に関する報告書	平成28年12月
(4)	シートライニング工法（光硬化型）による防食技術（平成26年10月諮問）	
	シートライニング工法（光硬化型）による防食技術の技術評価に関する報告書	平成27年7月
(5)	膜分離活性汚泥法（平成24年3月諮問）	
	膜分離活性汚泥法の技術評価に関する第2次報告書 －MBRの適用拡大へ向けて－	平成25年4月
(6)	エネルギー回収を目的とした嫌気性消化プロセス（平成22年11月諮問）	
	エネルギー回収を目的とした嫌気性消化プロセスの評価に関する報告書	平成24年4月
(7)	アナモックス反応を利用した窒素除去技術（平成21年3月諮問）	
	アナモックス反応を利用した窒素除去技術の評価に関する報告書	平成22年3月
(8)	オゾン処理技術（平成20年3月諮問）	
	オゾン処理技術の技術評価に関する報告書	平成21年4月
(9)	下水汚泥固形燃料化システム（平成19年3月諮問）	
	下水汚泥固形燃料化システムの技術評価に関する報告書	平成20年4月
(10)	耐硫酸モルタル防食技術（平成17年12月諮問）	
	耐硫酸モルタル防食技術の技術評価に関する報告書	平成20年4月
(11)	活性汚泥モデルの実務利用（平成16年10月諮問）	
	活性汚泥モデルの実務利用の技術評価に関する報告書	平成18年1月

(12)	汚泥減量化技術（平成15年9月諮問）	
	汚泥減量化の技術評価に関する報告書	平成17年4月
(13)	下水汚泥の炭化システム及び生成される炭化製品の諸物性（平成14年10月諮問）	
	下水汚泥の炭化システム及び生成される炭化製品の諸物性の技術評価に関する報告書	平成15年11月
(14)	膜分離活性汚泥法（平成14年10月諮問）	
	膜分離活性汚泥法の技術評価に関する報告書	平成15年11月
(15)	ステップ流入式多段硝化脱窒法（平成12年11月諮問）	
	ステップ流入式多段硝化脱窒法の技術評価に関する報告書	平成14年5月
(16)	下水道構造物に対するコンクリート腐食抑制技術及び防食技術（平成11年3月諮問）	
	下水道構造物に対するコンクリート腐食抑制技術及び防食技術の評価に関する報告書 －硫酸によるコンクリート腐食の機構と総合的対策の方針－	平成13年3月
(17)	研究開発評価（平成11年11月諮問）	
	研究開発評価制度に関する報告書	平成12年3月
(18)	オキシデーションディッチ法（平成10年9月諮問）	
	オキシデーションディッチ法の評価に関する第3次報告書 －OD法の運転管理手法及び高度処理化－	平成12年3月
(19)	最近の消毒技術（平成6年9月諮問）	
	最近の消毒技術の評価に関する報告書	平成9年3月
(20)	包括固定化担体を用いた硝化促進型循環変法「ペガサス」（平成4年10月諮問）	
	包括固定化担体を用いた硝化促進型循環変法「ペガサス」の評価に関する報告書	平成5年4月
(21)	効率的な汚泥濃縮法（平成2年8月諮問）	
	③効率的な下水汚泥濃縮法の評価に関する第3次報告書 －浮上濃縮法について－	平成6年4月
	②効率的な下水汚泥濃縮法の評価に関する第2次報告書 －遠心濃縮法について－	平成4年4月
	①効率的な下水汚泥濃縮法の評価に関する第1次報告書 －造粒濃縮法について－	平成3年4月
(22)	下水汚泥の溶融システム（昭和62年6月諮問）	
	下水汚泥の溶融システムの評価に関する第1次報告書	平成元年4月
(23)	自燃焼却システム（昭和60年8月諮問）	
	自燃焼却システムの評価に関する報告書	昭和62年10月

	回分式活性汚泥法（昭和60年8月諮問）	
(24)	②回分式活性汚泥法の評価に関する第2次報告書	昭和63年5月
	①回分式活性汚泥法の評価に関する第1次報告書	昭和61年11月
	微生物を利用した窒素及びリン除去プロセス（昭和59年11月諮問）	
(25)	③微生物を利用した窒素及びリン除去プロセスの評価に関する第3次報告書 －単段式及び二段式活性汚泥循環変法による窒素除去－	平成2年4月
	②微生物を利用した窒素及びリン除去プロセスの評価に関する第2次報告書 －嫌気・好気活性汚泥法によるリン除去－	昭和63年5月
	①微生物を利用した窒素及びリン除去プロセスの評価に関する第1次報告書 －活性汚泥循環変法による窒素除去－	昭和61年11月
	オキシデーションディッチ法（昭和57年12月諮問）	
(26)	②オキシデーションディッチ法の評価に関する第2次報告書	昭和60年9月
	①オキシデーションディッチ法の評価に関する第1次報告書	昭和58年12月
(27)	汚泥コンポスト化設備（昭和56年6月諮問）	
	資源利用のための汚泥コンポスト化設備の評価に関する報告書	昭和60年9月
	回転生物接触法（昭和52年8月諮問）	
(28)	②回転生物接触法の評価に関する第2次報告書	昭和57年12月
	①回転生物接触法の評価に関する第1次報告書 －家庭下水を主とする一般下水への回転生物接触法の適用について－	昭和53年11月
(29)	汚泥蒸発乾燥設備（昭和52年8月諮問）	
	汚泥蒸発乾燥設備の評価に関する報告書	昭和54年8月
(30)	回転炉床焼却設備（昭和52年8月諮問）	
	回転炉床焼却設備の評価に関する報告書	昭和55年11月
(31)	既存焼却設備（昭和50年7月諮問）	
	既存焼却設備の評価に関する報告書	昭和55年6月
	酸素活性汚泥法（昭和49年7月諮問）	
(32)	③酸素活性汚泥法の評価に関する第3次報告書 －カバー付酸素活性汚泥法の適用について－	昭和56年6月
	②酸素活性汚泥法の評価に関する第2次報告書 －家庭下水を主とする一般下水へのカバー付酸素活性汚泥法の適用について－	昭和53年11月
	①酸素活性汚泥法に関する第1次報告書	昭和50年10月

(33)	下水処理場の自動制御（昭和49年7月諮問）	
	③下水処理場の自動制御の評価に関する第3次報告書	昭和58年8月
	②下水処理場の自動制御の評価に関する第2次報告書 －汚泥処理システムへの自動制御の導入について－	昭和55年6月
	①下水処理場の自動制御方式に関する第1次報告書	昭和50年10月